

2025年度 成城大学大学院 文学研究科 I 期 入学試験問題

日本常民文化専攻 博士課程前期

《 文化人類学 》

I. 文化人類学が貢献しうる今日的課題の一つに「多文化共生」がある。あなたがこの課題に取り組む場合、いかなる問題意識をもって、どのような研究を計画しますか。①研究題目、②研究の目的・対象、③研究を立案した背景・理由、④研究の方法、⑤予想される成果に分けて、その概要を記しなさい。

II. 次の語句のうち2つを選んで、解説しなさい（選んだ語句の記号を解答の前に記すこと）。

1. ネットロア(netlore)
2. 文化資本 (cultural capital)
3. 民族に関する原初論的アプローチ (primordialist approach; primordialism) と動員論的アプローチ (instrumentalist approach; instrumentalism)
4. クイア理論(queer theory)
5. 文化の変化や発展に関する「消滅の語り」と「生成の語り」

*以下の問題は、文化人類学を第1選択とする者のみ解答すること。

III. 次の人物のうち1人を選んで、主要な調査研究地や研究領域、著作(編著書を含む)、提唱した理論や方法論、その後の人類学研究におよぼした影響など、できるだけ詳細に説明しなさい(選んだ人物の番号を解答の前に記すこと)。

1. クロード・レヴィ＝ストロース (Claude Lévi-Strauss)
2. ルース・ベネディクト(Ruth Benedict)
3. クリフォード・ギアツ (Clifford Geertz)
4. 岡正雄